

# アミガサユリ



アミガサユリ (東京理科大学 植物園)

2024/04/02 撮影

貝母

学名 : *Fritillaria verticillata* var. *thunbergii*

科名 : ユリ科

属名 : バイモ属

産地 : 中国 (浙江省など)、日本 (奈良、鳥取、兵庫県)

生薬名 : バイモ (貝母)

薬用部位 : りん茎

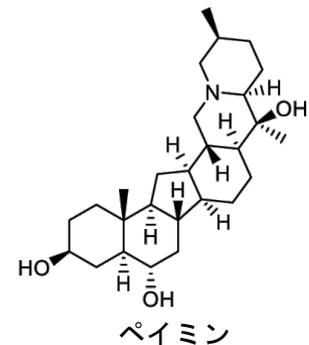
主要成分 : ステロイドアルカロイド (ペイミン)、配糖体 (ペイミノシド)

主な薬効 : 鎮咳、去痰

    血圧降下作用 (ペイミン、ペイミノシド)

    冠血管拡張作用 (メタノール画分)

漢方処方 : 貝母湯、清肺湯、滋陰至宝湯、当帰貝母苦参丸



中国原産のユリ科の多年草。高さは30~80 cmで、茎は直立している。花は3~4月ごろに咲き、上部の葉の付け根約3 cmの鐘形で、淡黄緑色の花を下向きにつける。葉の長さは約10 cmで、上部の葉は鉤型に曲がる。

アミガサユリの名前の由来は、花の形を編み笠に例えたもので、花卉の内側に紫色の網目模様が付いている。外側にも付いているものもある。

〈参考文献〉

- ・改訂第3版 生薬単 伊藤美千穂・北山隆監修 原島広至著 丸善雄松堂
- ・薬用植物学 改訂第7版 水野瑞夫監修 南江堂
- ・新訂生薬学 改訂第9版 木村孟淳・酒井英二・牧野利明編集 南江堂

2024/6/10 4YM Y.S